

学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2016年2月 尾北教職員労働組合

1 授業づくり・学級づくり

- 5 ●授業規律は大切だと思います。でもそれは発達段階やクラスの実態に合わせて子ども達と担任が作っていくものであり、形式をそろえる必要はないと思います。
- 「指導方法の形式を学校でそろえる」とよく言いますが、統一しすぎると先生方の個性がなくなり、息苦しくなってしまうと思います。
- 子どもたちが学びに向かうのは、魅力的な教材，興味を持たせる導入，発問の工夫だと思います。
- 10 ●きちんとした学級づくりの下に授業づくりを考えることができる。
- 小学校と中学校ではいろいろと違います。学力重視であれば，学びの意欲が起こるのを待ってられません。中学は，分かる楽しさを知らない子が多すぎます。基礎学力は大切です。
- 「全員参加の授業を」というテーマで取り組みがなされています。自由度の高いテーマであれば，授業を組み立てるときの一つの視点となるのでよいと思います。「学びのルール」などを取り入れなければならないものは反対です。
- 15 ●子どもの実態や発達段階に合わせた指導が基本。方法を統一させるのはおかしい。
- 子どもも先生も，そろえなくても個性があつていいと思う。
- 子どもの心が育っていることが一番だと思う。形だけが大切でない。
- 20 ●画一的な指導のような気がしてならない。教師も子どもも個性があつてよいのではないか。
- 「学びのルールや規律に基づいた指導」は，児童が混乱しないためにも必要だと思う。「指導方法の形式をそろえる」ことは，初心者の場合には必要。経験が豊富になってくれば，自分なりのものをつかんで臨機応変にやっていけるようになるので，不必要だと思う。
- 25 ●生徒それぞれ得意不得意があるのは当然のことであるため，これらの異なる生徒全員を理想とされる到達目標が達成できるように指導するのは非現実的な指導目標であり，教員にとって大きなストレスになる。
- 「指導方法の統一」を管理職から指示されることにより，おのおのが実態に応じて考えることを制限されると感じる。教育課程に基づいていけば，そこに至るアプローチの仕方は自由であるべきだ。
- 30 ●そろえるといっても，個人の能力差が大きく教師にかなりの指導力が求められている。ある程度の形式は必要。発達に応じた指導も必要。
- 基礎基本を大切にしながら，学びの中でお互いを認め合える関係づくりも大切だと思います。指導法の統一は学校内で特にありません。
- 35 ●「学び合い」を大切に，子ども達が自分の思いや考えを自由に伝えることのできる雰囲気づくりを心がけている。
- 大きな行事に学校全体が翻弄されているような気がする。「子どもや学級の実態や発達に合わせた指導」を若い先生たちがどこまでここにせまれるか，大変だと思う。
- 40 ●ルールの統一は大切だと思うが，具体的ではないのでわかりにくい。
- 個人的にはほかっておいてほしいが，形式が決められたらそうせざるを得ない。
- 中学校区であいさつをそろえるのはよい。授業スタイルをそろえるのは，んーと思う。

- 子どもの発達段階に違いがあり、個に応じた指導をするにはTTがもっと導入される必要がある。
- 全員参加できる授業を意識し、組み立てていくことは大切だ。
- 形態や方法をそろえるのではなく、「本質」の部分をもっと見つけ、磨いてほしい。
- 5 ●低学年は、基礎基本の定着等発達段階に合わせた指導が必要だと思います。中途半端な話し合いは子どもたちを混乱させているところもあると思っています。
- 学びのルールや規律はそろえたほうがいいのですが、授業内の手立てなどは、その学級の児童の状態に合わせるのがよいと思います。
- ある程度のルールは必要だと思います。学年、学級が変わるたびにルールが変わると子ども達も落ち着かないと思います。
- 10 ●低学年では、学習の姿勢や規律を学ぶためにルールに基づいた指導が必要な場面が多い。
- 学年の担任どうしでコミュニケーションをとり、指導方法のズレがないようにしている。
- 15 ●人間の脳は変化を苦手としているので、一貫した指導が有効だと考えています。
- 子どもの実態に合わせた指導は大切だが、まず一本学校で筋を通しておくべきだと思う。積み重ねで力がついていくので、学校生活・学習への取組方など、基本的な部分は学校内で共通にしておくとうよいと思う。
- 20 ●現代の子ども達は常識が全くと言っていいほど家庭でしつけられていない。大人のいうことに聞く耳を持たない子が多い。教師の権威は全くないので、ある程度そろえておく方が、かえって教師を守ることになると思う。
- 授業づくりや学級づくりをする上である程度形式がそろっているとやりやすいと思います。
- 学級の実態に合わせて学年で統一している。
- 25 ●教員の力不足が深刻な時、“そろえて”もらっているのは最低限の保障になる。全校統一した学びのルールづくりに取り組んでいるので、新年度からの指導がしやすい。
- 若い先生が増えて、不安定な学級が多くなった。
- 自由に行ってもその力は一年間限りです。学校で目標をもって6年間・9年間の見通しのもと行う教育はとても大切です。
- 30 ●授業のルールや規律がしっかりしていると、子どもが安心して学習に取り組めるし、教師も指導しやすいのでいいと思う。

2 道徳の教科化

35 (学校での取り組み)

- そこまではいっていないが、道徳の授業を公開するように言われる機会が増えた。
- きちんと道徳の授業をするよう言われている。
- 授業参観で全クラス一斉に道徳の授業をするように言われた。
- 特にないが毎週必ず授業をすること、道徳の授業参観を行うなどはしている。
- 40 ●外部講師を招いて道徳の現職教育を5回(今年度)行いました。
- 「わたしたちの道徳」を冬休みに家庭に持ち帰り、コメントを記入させた。
- 今の学校では、なぜか(評価基準が作ってあるためか)教科書使用が半強制的。そのため子どもの実態、社会の状況に合わせた自主教材が扱いにくい。

- 授業を何度か見せてもらえ勉強になる。
- 教材研究と情報収集を行った。
- 学年の各教科のつながりを確認してカリキュラムを見直しました。
- 心の部分、生命の部分を大切にしている。
- 5 ●犬山市に副読本などカリキュラムはあると感じる。
- 授業研で行った。
- 具体的なことはまだです。道徳推進教員？が他校に視察に行ったり、研修会に出かけたりはしています。
- 特に取り組みはない。

10

(問題点や今後の課題)

- 道徳を教科にすることよりも子どもたちの自己肯定感を高める。学校生活全体での子どもたちへの支援が大切だと思います。それが市民道德のベースだと思います。
- 15 ●道徳が教科化されて評価が必要になることで道徳の時間に弾力的に遅れた授業の補充をしたり学校や担任独自の取り組みをしたりしにくくなると感じる。
- 担任への負担が増加することが予測される（特に評価）。どんどん現場は苦しくなるのでは。
- 道徳を評価することはやはり望ましくないと思います。
- 道徳の評価など学校の教科として行うなどおかしい。何でも評価できると思うのがそもそも間違い。
- 20 ●道徳は、日々の生活の中で育まれていくものなので、授業として子どもたちの心を育てていくことは必要だと思うが、教科化する必要性は感じない。評価しても、みんな同じような評価になりかねない。
- 道徳は教科化しない方がよいと思います。
- 25 ●教科化というのがどうしても理解できない。様々な価値観をどう評価するのか。特定の価値観の押しつけになるのでは。
- 目の前にいる生徒に合った資料などを使って指導するのが望ましいと思う。
- 特定の教科書は特定の価値観の押しつけになる。
- 教科化すると評価をしなければならないので本当に道徳の価値を考えることができるのか心配。
- 30 ●既に外国語、生活、総合、生活の様子など所見が多すぎる。道徳についてもし評価するなら文章にするのが望ましいが、そうするなら通常の担当教科を減らしていただかないと体がもたない。
- 良い評価がされる答えを見つけることを子どもたちは目指してしまうと思う。
- 35 ●できればやめてほしい。人間の良心は評価できない。
- 評価はできない。必要もない。楽しくなくなると思う。
- 教科化するべきではないと思う。心は評価するものではない。
- 道徳は評価できないと思う。
- 評価の仕方は多分英語と同様記述式となると予想する。さらなる負担になり賛成できない。
- 40 ●評価が難しいと思う。所見のようになり負担が増えるように思う。
- 子どもの内面をどう評価したらいいのかわかりません。
- 文章での評価というのはとても多忙な成績処理をさらに悪化させることになる。そ

れに総合所見のようにいいことしか書かないのなら無意味。いっそABCとかで評価しては？

- どのように評価するのかが分からず不安です。
- 評価にそぐわない教科だと思ふ。
- 5 ●評価は多面的に行えないので無意味。
- 毎週取り組むという意識づけは大切だが、」評価の仕方があいまいで文章表記が難しい。
- 道徳の評価は文章表記だと聞いています。教師の負担が大きいのので◎○などの軽い記号表記がよいです。
- 10 ●成績をつける負担感がぬぐえません。
- 道徳を評価するのは本当に難しいと思います（言葉に表出していることと普段の行動が結びつかない子もたくさんいます。
- 道徳は大切だが教科とするのはどうかと思ふ。
- 文科省の打ち出す評価の基準がぶれているのに教科化することはおかしい。
- 15 ●文章表現になるであろうがもうこれ以上の文章表記はやめたいという気持ちが本音である。
- 今までも週1でやってきたことが教科として扱われるだけの違いだと思ふが要録や通知表の記録法が気になる。先生方をどれだけ苦しめているのかわかっているのかといたい。
- 20 ●子どもに心を見つめさせるだけではなく社会に出ていく上での規範を教えていくことは必要。数値化するのは絶対反対。
- 教科化しない方がよいと思います。
- 上からの押しつけや子どもへの教え込みが強まり心情を大切にしない方向に行くことが心配。
- 25 ●道徳は数値化できるものではないと思ふ。
- 評価は永遠の課題となりそう。

(その他)

- 私たちが無意識にやっている世の中の一般常識を授業に取り入れ一つ一つ見直すことが大切で教科書や副読本はその入口導入にすぎません。そんな細かいことはどうでもよいです。道徳は大切な教科です。
- 30 ●教科書が指定され資料を探す必要がなくなるので、教師の負担は軽減されるが生徒の実態にあった授業をするのは難しくなるように感じる。今の段階では何とも言えない。
- 35 ●総合のような記述式の評価にとどめておくことが適切だと思われる。
- 道徳を行事などの穴埋め時間にすることが多いと聞く。今の子どもたちには道徳教育の必要性をとて感じているので教科化してもよいと思ふが、他教科と同じ評価は道徳にそぐわないと思ふ。(評価しなくてもよいのではないか。)
- 道徳について教師が真剣に取り組むチャンスだと思っています。
- 40 ●道徳の授業を行っていない地域・県があるため教科化といわれていると聞いたことがあります。きちんと行っているところもあるので画一的ではなく必要などころにのみ対応してほしいです。
- 道徳は学力の低い子どもも参加できる唯一の教科です。教員を含め一般の皆さんは道

徳についてきちんと認識していらっしゃらないのではと思うことがあります。

2 全国学力テスト

～事前のテスト対策について～

5 (反対)

●過去問題を練習しては、本来の目的からはずれと思う。ただ、なぜそうなるかを考え、テスト対策をさせる背景（世間からの評価）から改めるべきだと思う。

●テストの点を一時的に上げるための対策であれば、実施しない方がよいと思う。

●過去問題の練習で点が上がっても、本来の意味（点数の）とは違うと思われます。

10 ●過去問の練習では、解き方の練習で、真の実力を評価するものにならない。

●事前対策は、テストをゆがめるものであるし、このテストの欠陥でもあると思います。

●（事前に過去問題を練習させるのは）趣旨に反する。

●そんなこと（事前対策）しなくてよいと思います。

15 ●4月のクラスも落ち着いていない中で、他に取組むことを優先すべき。過去問の練習で、通常の授業ができないのは問題である。

●学びの結果を測ることにテストをすることは間違いではありませんが、結果の公表からテスト対策。おかしなことです。

●テスト対策をして実施するのでは、意味がなくなってしまうのではと思います。

20 ●テスト対策はおかしい。

●そんなことをしても意味がない。

●テスト対策に反対。

●練習させるのは学校側の理由であり、必要ないと思う。

25 ●テストの点を上げるためでは意味がない。基本的な学力を測るものでなくてはどう。

●意味がありません。ただし、B問題は点を上げるためでなく、活用について学ぶためにはやってみる価値があります。

●相対評価（順位）は際限ない競争をあおる。現場に「何かしろ」と言われたら（国・県・市・親から）過去問題をさせるしかない。

30 ●テスト対策はおかしい。形式に慣れさせるなら全員（全国の）に過去問を取り組ませることぐらいが可能だが、何の時間を使うのかと思う。

(その他)

●問題に慣れるために必要だと思います。

35 ●過去問題を使用するのは、差し支えないと思います。

●過去問により学習の振り返りを行い、未習熟の内容について再度復習を行うということならば、意味があるかと思う。

●問題が、これまで子どもたちが触れたことのないようなものなので、子どもを思って練習も必要かなとは思。学力テストのためではなく、日ごろからいろいろな問題に触れさせることは大切。

40

●うちの学校は事前に練習していないので、やり方そのもの（解答の仕方）が分からずにとまどう子もいて、持っている力が出し切れたどうか不安。

～全国学力テストについて～

(反対)

- 順位付けで意味があったのは、1回目のみ。あとは意味無し。順位なんかもういら
ない。
- 5 ●学力テストが内申点や高校入学に関わることに疑問を感じる。
- 公表しないという約束でスタートしている。県や市の勝手な解釈ではいけない。調
査をやるなら抽出でよい。
- 本来の意味からずれてきているのではないか。
- 学校間の競争の手段になってしまっていることが問題。
- 10 ●やったことで子どもに還元されるものがないと思う。結果をのせた分厚い冊子が送
られてきてもも読まないし・・・
- 本来の目的が、自分の学力を知るためのものならあった方がよい。他と比較し、そ
れが進学の資料として組織的に使われてしまうならやめてよい。
- テストの結果がすべてではなく、あくまで自分の力を客観的に知るものととらえる
べきである。
- 15 ●負担が増えるだけで、必要ないと思われる。それより、QUテストなどの費用を出
してほしい。その方がよっぽど、すぐ役立つ。

(その他)

- 20 ●学力が落ちていることはまぎれもない事実なので、結果はきちんと受け止めるべき
です。
- 実力を知るべき？

4 勤務時間の割り振り

(時間外勤務や割り振り)

- 25 ●時間外勤務をしたら、確実に割り振りがあるべきである。教師の仕事が多すぎる。
- 時間外勤務と同じだけ割り振りがほしい。割り振りは、各自の都合に合わせてとれ
るようにしてほしい。(忙しいときに割り振りを言われても帰れない)
- 「とってくださいね」と言われるが、申し出にくく年休に休んでしまいます。
- 30 ●校長から割り振りについて案内をしてほしいです。
- 割り振りは何分間の割り振りがありますかとしっかり言ってほしい。
- 割り振りが実際になされたことは皆無。
- 休憩時間は全くないので、割り振りをしっかりいただきたい。
- 土日や平日の勤務終了後の勤務を強いてしまうような仕事の割り振りはずべきでは
ない。やむを得ずそうってしまった場合は、きちんと割り振りをする。
- 35 ●割り振り変更簿が必要。時間を過ぎても何のことわりもなく会議が続き、割り振り
の指示もないのはおかしい。
- 割り振り変更簿があると、個人の都合でとりやすい。
- きちんと分かる形で示してほしい。
- 40 ●やはり制度として割り振りを意識することは大切。
- 時間外勤務が強制される活動があつたときには、割り振りをしていただきたい。一
つの権利として。
- 「割り振りは……望ましい」ではなく、客観的な方法で行うようにしてほしい。

- 仕事が多くて、とりたくてもとれないどころか、休日勤務が常態化している。
- 多忙の中、取れないのが現実。管理職もよく分かっているからこそ、割り振りなどができない。したら、学校運営ができなくなる。
- 平日や学期中に割り振りをとることは難しい。
- 5 ●割り振りはありがたいが、長期休業中しかとれないです。
- 長期休業中に取りしかない。
- 実際には、仕事が多くてあまり休めていません。
- 別の形でもらっている（中学校）。
- 割り振りは、しっかり取れるようにすべきだ。
- 10 ●割り振りして早く下校したい。

（勤務時間・休憩時間・年休など）

- 7：50～16：15まで、ノンストップの勤務で、トイレに行く時間も自由にとれないことも多い現状です。休憩時間が取れないことをふまえて、週1回でよいので時間を繰り上げて勤務を解いてほしい。
- 15 ●打ち合わせを16：45からやっています。昼の集会在月に1～2回計画されています。勤務時間や休憩時間の意識が低い職場だと思います。
- 部活動の指導など、時間外なことが多い。休みはほしい。
- 本当に必要なときに（病気や家族のことで）、嫌な顔をされずに休みを取ることができるのが望ましいと思う。
- 20 ●休憩といわれても、職員室では休める環境ではないし、休憩スペースもない。だったらその分早く帰ってよいことにしてほしい。そうすれば家のことがやりやすい。
- 自分も若いころ休んだことがあるので、お互いカバーし合わなければならないと思います。
- 年休や割り振りが取りやすい職場環境になるといいと思う。
- 25 ●年休が思うようにとれない。無理して勤務も多々ある。
- 勤務時間（在校時間記録表）を毎月出していますが、全く意味がないと思います。県の方に出すので、時間数を調整して出すように言われます。その記録を打ち込む時間に、一人分のテストの丸付けをすることができます。

5 教職員の健康問題

◎健康で働き続けられるために何が必要か

（多忙・仕事量の多さの改善）

- 忙しすぎる。行事や職務の精選が必要。
- 教職員にかかる心身の疲労は深刻化していると思う。朝から晩まで息つくひまがないので、業務内容を軽減したり、体制を見直したりしてほしい。
- 35 ●仕事が多すぎると、サービスでやっていることが多いと思う。
- やらなくてはいけないことに追われ、多忙な日々が続くことで、精神的、ひいては身体的不調にまで至ってしまっている。業務の精選・効率的な運営（分担）が必要。
- 絶対的に仕事量が多い。1クラスの人数を減らせば仕事量は減ると思う。早急に!!
- 40 ●子どもたちのためにも。
- 子どもたちのためにという形になっている仕事が多すぎる。教職はブラック企業といわれていることを考えなければいけない。教職としての仕事の枠を考えるべき。
- 1人ひとりの仕事量を減らす。教職員の多忙さをわかっている文科省の怠慢。上部

組織への働きかけが必要。

- 仕事内容の精選。
- 何か新たなことを始めたら、1つ減らすこと。
- 無駄・無理な仕事をなくしていく。勤務時間内に事務処理や学級のことなどが終えられるようにする。
- 必要以上は残業しない雰囲気大切。
- 仕事の分配が必要だと思います。
- 仕事がある人には多く、やらない人にはなく、分量のバランスが悪い。
- 行事の精選や教職員の増加、30人以下学級、空き時間の確保など、勤務体制を見直してほしい。
- 教員にゆとりを。学級定員減を。
- 悩み事を聞いてくれるカウンセラーの常駐。
- 教職員の増加。
- 専科教員の加配で持ち時間を減らす。
- 通学班の問題が多いので、見守り隊のような組織をボランティアでなく、仕事としてやってもらえるようにできないか。
- 労働時間の短縮（残業時間は、月20時間以内）。

(心と体・メンタルヘルス)

- 困っているときに「助けて！」と言いやすい職場が必要だと思う。
- みんなストレスがたまっているし、何日か続けて休まれている先生を見ると心配になる。
- 多くの教員が毎日、栄養ドリンクを飲んでいるという話を聞きます。休みが必要だと思います。部活動は、外部の指導者が行ってほしいです。
- 調子が悪くても病院に行く時間がとれず、市販薬をとりあえず飲んで、ひどくなってから通院というパターンが多いのが現状です。
- 体調が悪いときに安心して休める体制。
- 休日をしっかりととり、普段も遅くまで残らず、早く帰宅する職員室の雰囲気づくりが大切だと思う。
- 児童や保護者のことで困っていたり悩んでいたりに、あたたかく聞いてくれたり助けてくれたりする職場の雰囲気が大切。それを管理職には心がけてほしい。
- 教職員が何でも情報交換ができる職場づくりが大切。今、わたしが勤務している職場はとても良い
- 「報告・連絡・相談を」というのなら、管理職自らが、気軽に話をしやすい雰囲気を作ってください。
- 周りの助けが必要。
- 管理職が細かいと、他の人も細かくなってしまい、何となく人間関係が悪くなる。
- 他人を見て、イライラするのはやめました。
- ストレス過多。パーテーションがほしい。半透明でもよいので。もしくは、机を全員外側に向けて、後ろに収納棚を設けるとか。職員室で落ち着いて仕事ができる環境が足りないと思う。
- わからない。今のところちょっとの楽しみで何とかやっています。
- 休日にきちんと休めるように、部活動指導の負担軽減の手だてを立ててほしい。

- 休みがほしい。
- 平日も休みがとれるとうれしいです。
- 日々の体へのケアと体力づくり。
- 教職員の増加。
- 5 ●専科教員の加配で持ち時間を減らす。
- 休みやすい環境づくり。
- 学校の雰囲気。今はとても良い。
- 休養がとれるゆとり。

10 (その他)

- 教員の自由な発想に基づく教育活動（もちろん教育課程の中で）を良しとする雰囲気を作る。
- 職場の状況もちろんだが、社会全体に健康を蝕む要素が増えている。

15 **6 その他**

(駐車料金)

- 駐車料金いらない。
- 駐車料金0円！！
- 駐車料金の徴収はやめてほしい。
- 20 ●駐車料金なんとかなりませんか。
- 同じ地区に勤務していても1年で考えると15,000円。これに年数をかけると・・・大きい。
- 同じ管内で異動もあるので、駐車料金は教職員はなしの方向にしてほしい。
- 駐車料金については、教員の職業柄、すぐにいろいろな事態に対応するためにも自家用車での勤務は必要であると思います。ですからぜひ、駐車料金の撤廃をお願いしたいと思います。
- 25 ●駐車料金の問題いい加減にしてほしい。車での通勤しかできないのに。「本来子どもを使う場所とか（言われるが）、単なるあてつけ。だったら、なぜ学校に来る保護者から料金をとらないのか説明してみろ！と思う。来賓もしかりだ！
- 30 ●駐車料金は本当に嫌気がさしたので、今年から自転車通勤にした。みんな自転車通勤にして、市町をこまらせればいいと思う。

(教職員評価制度)

- 教職員評価制度は必要ないと思います。
- 35 ●教職員評価制度は本当に必要なのか。評価シートの作成や面談に時間がとられるのに、面目のためにやっているようにしか思えない。問題があると思える人が、次年度対応がとられることもない。
- 評価制度、学校訪問は、本当に無駄だと思う。お金も労力も。
- いつまでやるのか、評価制度。時代遅れ、教育の場に合わないものを、メンツのためにしているとしか思えない。
- 40 ●教職員評価制度・学校訪問・駐車料金は、なくしてほしい。

(その他)

- 職員室に校務員さんがみえなくて、教員しかいないとき、来客があると女性にお茶を出すよう声かけをされるのが納得できない。男尊女卑まる出し。早く帰って家事や育児もしないと。
- 民間企業はもっと大変。どこにでもある問題です。日本人、もっと助け合わなければ、今のままでは大変ですね。
- 地道にとりくみを続けていく他はない。
- ストレスチェック制度が始まるそうだが、50人未満の職場は努力義務とはおかしい。人数に関係なく実施されるべきだ。
- 今の教育状況に絶望しています。本当にこのままでいいのでしょうか。
- パワハラには、厳しく罰するようお願いします。前の学校であったので。
- パワハラ・セクハラ 論外？
- 教職員が減少している中、学校の校務分掌の見直しも必要ではないか。